

2022年3月1日（火曜）

全労金2022春季生活闘争ニュース・第10号

～めざそう賃金改善！進めようジェンダー平等！団結しよう、みんなの春闘！～

武力による侵略行為に「NO!」を！ 全労金は、話し合いによる平和的な解決をめざします！

◎日本国内・世界各地でロシアの武力行為に対する抗議行動が行われています！

2月24日、ロシアは隣国ウクライナに武力侵攻を開始しました。主権国家であるウクライナの平和な日常が、他国の力（武力）によって、強引に破壊されています。日本国内・世界各地でロシアの武力侵攻に対する抗議行動が行われています。全労金は、今回の力（武力）による暴挙を許してしまえば、国連を中心にこれまで積み上げてきた世界平和の秩序が、今後は維持できなくなってしまうことにつながるかを憂慮します。

◎話し合いによる解決を！

私たちは、日常生活の中で改善しなければならない課題が発生すれば、話し合いを重ねることで解決方法を模索することができるはずです。

私たちが取り組んでいる「春季生活闘争」は、労働条件や働き方に関する課題について組織内で議論し、組合員との合意を経て要求として確立した後、金庫・事業体と交渉を積み重ね、お互いの主張の一致点を見出し合意しています。金庫・事業体との交渉では、労使の立場に違いはあれども、話し合いにより解決をめざすことが大前提です。私たちには、組合員の連帯によって思いをひとつにして交渉に臨み、要求を実現させることが求められます。

◎平和無くして労働運動なし！

私たちの日常生活の基盤には、「平和な社会」があることが大前提です。春季生活闘争によって、いかに労働条件の改善を勝ち取ったとしても、ひとたび戦争が起これば、すべてが無くなってしまいます。私たちは、ロシアの力（武力）による暴挙を許すことはできません。全労金が運動のキーワードに掲げる「将来（未来）への責任」を果たすためにも、全労金に集う組合員一人ひとりが、「戦争反対」の声をあげましょう！

以 上

